

新型コロナウイルス感染症に対する 当院の取り組み

患者さんへ

- ① 新たな入院患者さんは入院後約 2 週間別室で観察し、必要に応じて新型コロナ PCR 検査・抗原検査・抗体検査などを行います。
- ② 可能であればマスク着用をお願いしております。
- ③ 入院中に 37.5 度以上の発熱や感冒症状などの症状に応じて、新型コロナ検査と隔離を行い、早期発見に心がけます。
- ④ 可及的速やかに新型コロナワクチンの接種を進めております。

来院される方へ

- ① 来院の際、検温と体調の確認をお願いしております。
- ② 病院内ではマスクを正しく着用し、頻回の手指衛生をお願いいたします。
- ③ 入院患者さんへの直接の接触は、原則制限しております。
- ④ 面会は直接の接触を避ける方法でお願いしております。

病院職員へ

- ① 常勤・非常勤の例外なく 1 日に 2 度の検温と健康チェックを行っております。
- ② 各部門において、手指衛生の徹底、正しいマスク着用、高頻度接触面の環境衛生、換気対策を行っております。
- ③ 「体調チェック表」「環境衛生管理チェックリスト」を毎日記録しております。
- ④ 1 日に 3 回、感染対策の院内放送を行っております。
- ⑤ 全職員に対して最低年 2 回の感染対策研修会と小テストを行います。
- ⑥ 感染対策委員会を月に 1 回開催し、院内感染の防止に努めております。
- ⑦ 希望する全職員に対して新型コロナワクチンの接種を行いました。
- ⑧ 高性能換気装置の設置を鋭意進めております。

※当院の新型コロナウイルス感染症対策は、厚生労働省、国立感染症研究所、日本化学療法学会、日本感染症学会、日本環境感染学会、米国 CDC、WHO 等の情報及び、「新型コロナウイルス感染症診療の手引き」に基づき策定しております。